

11 日本語指導が必要な児童生徒に対する日本語指導の内容等について

①日本語指導が必要な児童生徒を対象に行っている指導内容別学校数

	小学校	中学校	高等学校	義務教育 学校	中等教育 学校	特別支援 学校	合計	
	令和3年度	令和3年度	令和3年度	令和3年度	令和3年度	令和3年度	令和3年度	平成30年度
(ア)「サバイバル日本語」	2,829	954	140	23	1	55	4,002	5,057
(イ)「日本語基礎」	4,270	1,774	306	37	2	46	6,435	7,198
(ウ)「技能別日本語」	2,418	1,045	121	23	1	23	3,631	
(エ)「日本語と教科の統合学習」	2,241	980	80	22	2	8	3,333	3,031
(オ)「教科の補習」	4,014	1,711	307	36	3	17	6,088	6,067
(カ) その他	377	210	129	6	1	18	741	2,287

(校)

※日本語指導が必要な児童生徒が在籍している学校の回答(全校種) 外国籍8,436校 日本国籍3,893校

※複数回答可

(ア)「サバイバル日本語」:挨拶や体調を伝える言葉、教科名や身の回りの物の名前などを知って使えるようにする

(イ)「日本語基礎」:文字・表記・語彙・文法、学校への適応や教科学習に参加するための基礎的な力をつける

(ウ)「技能別日本語」:「聞く」「話す」「読む」「書く」の言葉の4つの技能のうち、どれか一つに焦点を絞った学習

(エ)「日本語と教科の統合学習」:JSLカリキュラム

(オ)「教科の補習」:在籍学級での学習内容を先行して学習したり、復習したりする